

令和2年度第1回船橋市立医療センター運営委員会（書面会議）議事録

（令和2年7月22日作成）

1 開催日時

令和2年7月2日（木）～令和2年7月17日（金）

（資料送付から意見の取りまとめを行った日まで）

2 開催場所

書面会議のため無し

3 出席者

(1) 委員

横須賀委員長、寺田副委員長、福山委員、齋藤委員、横手委員、寺井委員、鳥海委員、三井委員、伊藤委員、高橋委員、林委員、海老根委員、土屋委員

(2) 理事者

—

4 欠席者

—

5 議題

(1) 令和元年度の取り組み達成状況、経営指標及び決算額について（公開）

(2) 令和2年度の予算額及び取り組みについて（公開）

6 傍聴者

なし

7 決定事項等

- (1) 令和元年度取り組み達成状況、経営指標及び決算額の状況について確認。令和元年度の取り組みに対する評価としては、全項目について目標を達成していると評価する。なお、各委員からいただいた意見は以下のとおり。

<令和元年度の取り組み達成状況について>

（大項目1に対する意見）

- ・大項目1について、難しい医療経済、経営の中、十分な実績と思います。本来ならば、公立病院の経営はこれ以上のものを求める事は間違っていると思います。地域医療の砦を守りながら現在の経営状況は充分過ぎるもので、今後の苦況では、両立よりも医療の質の確保に注力して頂きたいと思えます。

- ・大項目1の小項目「患者数の増」について、新入院・初診患者数、病床稼働率については、新型コロナウイルスによる影響にも関わらず、よく健闘されたと思います。
- ・DPCⅡ期間退院の目標74%以上は高すぎると思います。徐々に達成していただければと思います。
- ・大項目1について、新入院、初診患者数の増加の意図に達せられていないがコロナ診療の影響と思われ、今後の対策が求められる。
- ・大項目1、3への取り組みの必要性を感じる。
- ・大項目1の小項目「その他の収入確保策」について、手術室の稼働率が非常に高い。また、E館の手術室も有効に活用されていると感じた。
- ・大項目1の小項目「診療材料費の削減」について、高額な材料が増えている中で、努力の跡が見受けられる。×評価は厳しいか。ベンチマークへの参加の効果には興味がある。
- ・大項目1の小項目「薬品費の削減」について、診療材料費同様、×評価は厳しいと感じた。後発品への切り替えも、品目ベースでは高い数値となっており、△となっているが、それ以上の評価ができる。

(大項目2に対する意見)

- ・大項目2の小項目「働きやすい職場」については、職員満足度の分析と現場へのフィードバック(向上)を行うことが、患者サービスの向上や病院のsustainabilityに重要と考えられる。
- ・大項目2について、医療安全面でも、様々な工夫をされている事を知っております。充分と考えます。
- ・大項目2について、インシデントレポート0(ゼロ)の部署の解消を目標に。

(大項目3に対する意見)

- ・大項目3について、船橋市唯一の三次救急病院としての役割を十分に果たしていると思います。一方で地域連携にも注力頂き、二次救急病院としての機能もドンドン上昇しているものと感じております。
- ・大項目3の小項目「前方連携の強化」について、胃がん検診はコロナ感染の影響で仕方ないと思います。
- ・大項目3の小項目「後方連携の強化」について、病々連携を今後どうするかが検討課題と思われれます。

(大項目4に対する意見)

- ・大項目4について、忙しい中、医師のみならず、看護部、検査部、栄養部も研修、研究をされている事に頭が下がります。大規模研究施設によるbiologicalな研究とは違い、地域の臨床dataを集積する事、症例検討を盛んに行うことは医療レベルの向上に最も価値ある事と考えます。
- ・大項目4の小項目「治験実施件数の増加」について、新規治験の受け入れをどう増やしていくかが今後の課題のようです。

(全体に対する意見)

- ・ 厳しい医療機関の経営状況から考えて申し分ないと思います。
- ・ △・×印の項目について結果は別として十分な努力が評価出来ます。
- ・ 令和元年度2月、3月の新型コロナウイルス感染症により、大きく影響を受けた面もあるが、概して取り組みを達成していると考えられます。
- ・ すべての項目に効果が出ていると感じ、高く評価します。
- ・ 年間を通しての数値目標については、2、3月において新型コロナウイルス感染症の影響を少なからず受けているため、目標に到達しなかったものがあるが、その他については、安定した運営がされており全体評価を○とした。
- ・ 年度の終盤には新型コロナウイルスの影響もあったことと思うが、どの項目も概ね目標を達成しており、全体評価は○とした。

<船橋市立医療センター中期経営計画の経営指標と数値目標について>

- ・ 経営指標と数値目標の達成状況の内容については御説明のとおりで理解出来ます。又充分努力されたものと思われます。
- ・ 材料費比率27.8%は仕方ないのではないのでしょうか。どこを削減する目標だったのか、数値目標とのリンクになると思われます。
- ・ 経営指標と数値目標は概ね高めに設定されていると考えられる。コロナ感染の影響もあり、より現実に沿った数値目標を考えた方が良いと思います。
- ・ 病床稼働率は目標に達していないものの高い数値となっており、紹介率・逆紹介率ともに非常に高く、努力を感じた。

<令和元年度決算額について>

- ・ 病院事業費用の増加、特に材料費が高額となり事業収益の増加があっても収支が追いつかないと思われます。
- ・ 医業費用に関して、給与費の抑制はしっかりされた様に思われます。材料費の増加にはいたしかたない面はありますが、更に踏み込んだ検討が必要かもしれません。
- ・ 材料費の伸びが顕著だが、入院・外来収益はそれ以上に伸びていることは、高度な医療を行っている証拠だと思った。

<令和2年度予算額について>

- ・ 前年度の収支から引き続き努力いただく事になると考えます。
- ・ 新型コロナウイルス感染症が医業収益に影響を与える可能性があるため、給与費率の増加(前年度比率8.1%増)が気になる。人件費率の抑制が今後の課題となるう。

<令和2年度船橋市病院事業計画について>

- ・ 御説明どおり理解しました。
- ・ 新入院患者数が高いと思います。
- ・ 一般病床の入院、外来患者数に関して、コロナ感染の影響を考慮して計画を立てる必要が

あるのではないのでしょうか。

〈その他〉

- ・新型コロナウイルス禍において、船橋市の医療を支えていただいている皆様の努力に、心より感謝いたします。

(2) 令和2年度の予算額及び令和2年度の取り組みの目標値の変更について確認。目標値等の変更内容を承認する。

8 問い合わせ先

病院局経営企画室 047-438-3321(代)